

第1部 改元と天皇代替わりの政治利用

高橋 裕文(茨城県歴教協副会長)

はじめに

2019年4月1日に政府が新元号「令和」を発表し、5月1日新天皇即位と同時に改元となりました。政府発表と同時にわき起こった改元フィーバーをマスコミが大々的に報道しましたが、その中には新元号号外を奪い合う人々、手を合わせ涙を流して拝む人、万歳をする人々等々の姿があふれました。これはかつて明治憲法発布で人々が歓迎のお祭り騒ぎをしたことや、紀元2600年の奉祝パレードや東京音頭を歌い踊ったことと変わりません。新元号発表の記者会見では全く批判的な質問が出ずマスコミが一斉に歓迎の報道をしたことは、これまでのマスコミ統制が功を奏したことの表れでしょう。

これで時代が代わりいよいよ新時代が始まるという世論を盛り上げ、これまでの悪政をなきものにし改憲に踏み切ろうとするための仮想世界の演出に他なりません。この結果、安倍政権に対する支持率が3～9ポイントも上昇しました。これにより統一地方選挙を乗り切り、新天皇即位(5月)の祝賀騒ぎに紛れて参議院選挙(7月)で圧勝し憲法改正に突き進むという政略でしょう。しかし、欺瞞に満ちたこのような政略がいつまでも通用するはずがありません。

1、そもそも、戦後なぜ元号を使っているのでしょうか

- ① 敗戦後、昭和天皇は東京裁判にかけられることを避けるため戦争責任をとって退位するはずでした。ところが、ここで退位すると天皇制そのものがなくなってしまうので戦争責任については「ほおかむりを決め込む」ことにしました。そのため、天皇やめず、元号の昭和も続きました。
- ② しかし、皇室典範(1889年)は廃止になり、新皇室典範(1947年)では元号公布の規定はなくなりました。そのため、戦後は元号制がなくなりました。
- ③ ところが、天皇制は廃止ではなく新憲法で「天皇は国民の象徴で、その地位は国民の総意に基づく」となりましたが、一度も信任投票をしたことがありません。
- ④ その職務は内閣の助言による国事行為として規定され、政治的権能を有しないとされました。ですから、過去の戦争に対する反省も、これからの戦争への反対も述べることはできないとされています。しかし、憲法の前文の範囲内で戦争に対する反省とこれからも戦争がない世の中を願うことはできるはずで、それはおりの言葉でも示されています。
- ⑤ ところが、1979年に元号法ができ「元号は政令で定める」「元号は皇位継承があった場合に限り改める」ということで元号制定は内閣の権限となりました。この時には「元号は一般国民に強制しない」とされました。そのため、普通のカレンダーでも西暦を用い元号は書かれていません。新聞も西暦の次にカッコで元号があるだけです。ところが、政府はすべての行政機

関やその窓口ばかりでなく学校現場にまで元号使用を義務づけていますが、これは約束違反です。

- ⑥ 今や、世界で元号を使っているのは日本だけであり、国際的にも通用しません。東京オリンピックは公式には2020年であって令和2年とは決して表記しません。これは国威発揚を優先させているからです。出生届も元号ですが、長生きの人を含めるならば明治、大正、昭和、平成、令和と5つの元号生まれの世代があり、西暦だったら数え年で引き算するだけで年齢が算出できますが、元号では西暦併記の換算表がなければとてもできません。もはや限界でしょう。

2、なぜ「令和」にしたのでしょうか

- ① 改元は前天皇が生前退位を望んだことが原因ですが、そもそも亡くなるまで天皇在位を続けることに無理があります。高齢で公務が勤められなくなっても、やめられず、代理の摂政も置かないということで、形式化した制度そのものに問題があります。
- ② 有識者会議で新元号原案を決めたということですが、平成の時には有識者会議以前に政府側僚があらかじめ本命を決定し、それを有識者会議で追認したと報じられました。当然、2、3の元号候補を短時間で議論して決められるはずがありません。
- ③ 事前の報道では、新元号はこれまで中国の古典から文字を選んでいたので、今回は国書から選ぶという保守派(日本会議のこと)の圧力があつたといわれましたが、その通りとなりました。
- ④ 国書とは外交文書や国家を代表する文書をいいますが、日本人が書いた和書も含まれます。そのなかでも今回は「万葉集」の大伴旅人の宴会の歌の序文の中からとったということですが、和歌そのものからではありません。「万葉集」からとったというのを目玉にするなら、序文ではなく和歌からとるべきでしょう(和歌なら日本語のひさかたとなるでしょう)。

序文 …天平二年正月十三日、帥の老の宅に萃まりて、宴会を申ぶ。時に初春 令月、
氣)淑く風和らぎ、梅鏡前の粉を披き、蘭は珮の後の香を薫ず。

和歌 …わが苑に梅の花散るひさかたの天より雪の流れ来るかも

(佐佐木信綱『大伴旅人・大伴家持』厚生閣、1939年、84頁)

- ⑤ そもそも漢字は中国の書物から学んだものであり、国書といっても中国の書物を元としていることに変わりはありません。文章の中からはばらばらに取り出すと熟語の意味よりも本来の意味が出てきます。そこで、問題となるのが令という文字です。

令・a、神のお告げ、君主・役所・上位者の言いつけ、b、おきて、お達し、

c、よい、d、よくする、e、おさ、f、きまり、g、命令する、h、せしむ。

これを見ても、主な意味は命令であり、よいなどという意味は令嬢、令夫人とかの熟語でなければ使いません。これを使うのははじめてだということですが、もともと意味としては強制的なイメージがあるため使わなかったのであり、不適切というしかありません。

この令を使った熟語に「令色」がありますが、この意味は「こびへつらう顔つき」であり安倍

政権に蔓延する忖度と同義です（「巧言令色鮮^{すくな}鮮し仁」〈論語〉）。よいと思って使ったがついに馬脚を現したということでしょう。

令の解字として、頭の△はおおいの下に集めること十人のひざまずく姿で、人々を集めて、神や君主の宣告を伝えるさまをあらわし、清く美しい意を含むといいますが、こうなると、新元号発表の記者会見そのものではないでしょうか。

- ⑥ 和にはやわらぐ、たいらぐ、おだやか、なごやかななどの意味がありますが、国訓ではわと呼び大和、日本という意味があります。とすれば、令和には「美しい日本」という安倍首相の理念が隠されており、首相談話の令和の解説は回りくどくこの理念を語っただけのものでしょう。

3、改元で時代は変わるのでしょうか

- ① マスコミでは時代が変わるとか、平成も最後だとかよくいわれますが、改元で時代は変わるのでしょうか。なかには、新しい時代がどのような時代になるのか楽しみだとか、さらには令和にふさわしい人になるという人までいます。元号は皇帝が時間を支配することであり、敗戦までは天皇が元号を決定し公布したのであり、それを使うということはその支配に服することです。南北朝時代には南朝方は南朝年号しか使わなかったし、不服な場合は新年号を使わず元の年号や私年号を使いました。今回の元号は天皇ではなく内閣が決めたのですから、そのまま使うということは安倍政権に服するということになります。
- ② 元号は時代区分ではありません。時代区分とは歴史の流れを区分する方法であり、おもに政治の中心（平安・鎌倉時代など）や政治経済体制（近世・近代など）で区別します。ですから、元号では区分しません。ところが、明治以降は首都が東京に固定化されたので東京時代とは呼ばず、一世一元となったので元号を時代というようになりました。しかし、戦前と戦後の昭和を同じ時代というのも全く違う体制なので、あり得ない話です。元号ごとの世相を時代区分の理由とする向きもありますがそれは文化的区分でしょう。
- ③ 安倍首相は元号発表の記者会見で「令和には、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められている。一人ひとりの日本人が明日への希望とともにそれぞれの花を咲かせることができる日本でありたいとの願いを込め令和に決定した」と美辞麗句を並べ立てましたが、正反対のを行ってきたのがまさにその当人です。
- ④ 改元で改憲すべきではありません。安倍首相は令和の新時代にふさわしい憲法に変えるべきだと呼びかけていますが、憲法を守るべき首相が改憲の先頭に立っていること自体が異常事態です。令和にふさわしいとは安倍首相の令和の解説に基づくもので、その真意は持論の「美しい日本」でしょう。改元を口実とした自作自演の安倍改憲ともいうべきもので、安倍一強政権の総仕上げで日本を覆い尽くそうということでしょう。

おわりに

- ① 最近の世論調査では新元号を使うという人は40パーセントしかおらず、50パーセントは西暦を使うとしています。マスコミの歓迎一色のキャンペーンとは裏腹の結果が出ているとしかいいようがありません。天皇制、日の丸・君が代、元号は根底でつながっており、それも古い伝統ではなく明治維新以来150年の創作伝統であり、ゆがめられた近代化の名残です。改元後はますます「令和はじめて」「令和新時代」キャンペーンが官民挙げて行われていますが、これは「あるべき日本人の姿」を押しつけようという意図的なものです。
- ② 今年11月に政府が国税数十億円を投じて天皇代替わりの最大皇室行事として大嘗祭を行う計画ですが、そもそもこれは神道行事であり、国家神道でもない現代に行うようなものではありません。その内容は夜間に新天皇が神と新穀を食して同衾する秘儀であり、江戸時代に荷田春満が解説本「大嘗会便蒙」を出して公家のひんしゆくを買い幕府より処分されています。戦国時代から江戸時代中期まで中断していましたが、大正期に大々的に行われ、平成期にもそれを踏襲して規模を拡大させた時代錯誤の産物です。
- ③ 安倍内閣は改元だけでは足りず、5年先の新紙幣まで津田梅子、北里柴三郎、渋沢栄一の人物像使用を発表しましたが、その意味する所は女性活躍、科学技術先進国化、経済成長でしょうが、この間ことごとく失敗していることばかりです。このような新紙幣キャンペーンはキャッシュレス化を推進している政府がやることではないし、5年先まで生き延び何としても改憲しようという悪あがきでしかありません。